

事業所名		放課後等デイサービス あいてらすキッズ				支援プログラム		作成日		2026 年		1 月		5 日	
法人（事業所）理念		私たちは、ご利用者様ひとり一人が明るく輝く人生と「あなたらしい生活」ができるよう最善を尽くし、あなたと共に生きる明尽苑を目指します。													
支援方針		「遊びを通して集中力と社会性を育む療育」 ・ SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通じて社会の中で必要となるコミュニケーション能力を身につけていきます。また、自己表現（困ったときに助けを求める）や集団で行動するために必要な能力を身につけます。 ・ 遊びの中で、集中力を養い、ルールを守るなどの集団生活に必要な能力を身につけます。 ・ ABA（応用行動分析学）を用いて、利用者様のひとり一人が暮らしやすくなるために必要な支援を行います。													
営業時間		（放課後）		9 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無		（あり） なし			
		（学校休業日）		8 時	30 分	から	16 時	0 分							
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	「集団生活に参加するための基礎となる生活リズムと、身の回りの自立を促します。」 ・ 活動前後のルーティン化（ABA的アプローチ）として視覚的なスケジュール表を使用し、遊びの時間を明確に区別することで切り替えの力を養います。また、遊び終わった後の片づけを「次の活動への準備」として定着させ、できたことに対して具体的に褒める（正の強化）を行います。													
	運動・感覚	「粗大運動や微細運動を遊びに取り入れ、集中力の基盤となる身体制御能力を高めます。」 ・ 集中力を高める指先遊び：プチブロックやパズル、カードゲームなど、一定時間座って取り組む活動を通じ、注意を持続させる練習を行います。 ・ 感覚統合遊び：順番待ちが必要なサーキットトレーニングやアスレチックを行い、自分の体の動きをコントロールする力を養います。													
	認知・行動	「ルールの理解と遵守、ABAに基づいた適切な行動の学習を行います。」 ・ ルールのある遊び（社会性の基礎）：ボードゲームや「だるまさんが転んだ」などの集団遊びを通じ、「ルールを守ることで楽しく遊べる」という成功体験を積みみます。また、不適切な行動が見られた際は、ABAの視点からその原因（機能）を分析し、代替行動を提示して「暮らしやすさ」に繋げます。													
	言語 コミュニケーション	「SSTを通じた意思表示の練習と、双方向のコミュニケーション能力を向上させます。」 ・ 「助けて」の練習（自己表現）：遊びの中でわざと困る場面（高いところの物が取れない等）を設定し、適切な言葉で「手伝ってください」と依頼するロールプレイングを実施します。 ・ 気持ちの共有：遊びの中で感じた「楽しい」「悔しい」という感情を言葉にする機会を作り、相手の気持ちにも気づく練習をします。													
	人間関係 社会性	「集団の中での役割や協力関係を学び、社会生活に必要な対人スキルを習得します。」 ・ 集団SST（グループワーク）：「友達の輪に入る時」「物を貸してほしい時」などの具体的な場面設定に基づき、モデリング（見本を見る）とリハーサル（練習）を行います。 ・ 協力型ゲーム：チームで協力して一つの作品を作る、またはリレーを行うなど、他者と目的を共有し、集団行動の中で必要な「譲り合い」や「応援」の姿勢を学びます。													
家族支援		・ ノウハウを共有し、（ペアトレ）ABAに基づいた「褒め方」や、家庭で使える「視覚スケジュール」を共有し、保護者の対応力を高めます。 ・ 面談や電話連絡等で悩みを聞き取り、預かり支援を通じて保護者の休息を確保し心理的サポートを図ります。 ・ 学校・家庭・事業所が連携し一貫した支援が行えるようにします。							移行支援		・ 遊びでの「助けて」を、社会に必要な「報告・連絡・相談」へ発展させ、ミスや体調不良を適切に伝える練習を行います。ご本人の特性や「助けてサイン」をまとめたサポートファイルを作成し、進学先や就労機関へ確実に引き継いで行きます。遊びで培った集中力を「作業力」に、社会性を「対人マナー」に変換し、社会参加を支えます。				
地域支援・地域連携		・ 近隣の施設や住民に対し、「特性への理解と声掛け」等の勉強会を行い、地域全体で温かく見守る土壤を作ります。 ・ 学校や相談支援事業所と会議（ケース会議）を行い、ABAに基づいた「褒め方」や「助けてサイン」を共有化し、お子様がどこでも同じ対応を受けられる環境が作れるよう各機関と連携していきます。							職員の質の向上		・ 「根拠ある支援」の徹底（ABA・SST研修）全職員がABAに基づき感情ではなく「科学的な視点」で褒め方や助言を統一します。 ・ 実践的な振り返り（ケース検討）定期的に5領域の視点で「できたこと・課題」を共有し職員間のスキルの偏りをなくし、チーム支援を強化します。 ・ 「担当によって対応が違う」を解消し、全員が根拠のある質の高い支援を提供する状態を目指します。				
主な行事等		・ マグロ解体ショー（法人内）・お花見・近隣の商業施設への社会体験 ・ 明尽苑祭り（法人内）生活介護事業所と合同で出店の担当を行う・クリスマス会・法人内高齢者事業との交流会・特別支援学校（つくし祭り）への参加													